

「宮城県船形の郷」開所式について

昭和48年に開設した障害者支援施設「宮城県船形コロニー」は、近年、施設の老朽化が進んだことから、県では建替えに係る検討を重ねて、現地において段階的に建替える方針を決定し、平成29年度から基本設計に着手し建替えを進めてきました。

このたび、居住棟2棟が完成し、令和2年9月1日から供用開始するとともに、施設名称を「宮城県船形の郷」に変更するため、これを記念して、下記のとおり開所式を開催しました。

今後、新たな居住棟への引越を行い、9月下旬には新たな居住棟での利用者の生活を開始する予定としています。

生活環境と支援体制の充実など、ハード面のみならず、ソフト面も含めて総合的に整備を行い、利用者の視点に基づいた施設を目指して参ります。

記

- 1 開催日時 令和2年9月1日（火）
午後1時30分から午後2時30分まで
- 2 開催場所 宮城県船形の郷（現宮城県船形コロニー）
黒川郡大和町吉田字上童子沢21
- 3 主 催 宮城県
- 4 参加者 宮城県知事，宮城県議会議長，宮城県議会議員（環境福祉委員会，富谷・黒川選出議員），大和町（町長，議会議長），県立障害児者入所施設のあり方検討会構成員 等
- 5 建 替 え スケジュール
令和2年度 居住棟2棟完成 （定員220人→240人）
令和4年度 居住棟1棟，活動棟完成
令和5年度 既存居住棟大規模改修（定員240人→300人）
事務管理棟完成
令和6年度 全面供用開始

